

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

学 校 コ ー ド

大 学 等 名

大 学 等 の 長 名

公印

平成30年度海外留学支援制度(協定派遣・協定受入)申請書

標記制度に係るプログラムの計画について下記のとおり申請いたします。

記

1. 学生交流創成タイプ(タイプA)

No.	双方向 協定型	短期研修・研究型		プログラム名	
		協定派遣	協定受入		
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
計	0	0	0	0	プログラム

2. 学生交流推進タイプ(タイプB)

形態	プログラム計画数	
双方向協定型		プログラム
短期研修・研究型(協定派遣)		プログラム
短期研修・研究型(協定受入)		プログラム
計	0	プログラム

(注)「学校コード」は、所定の「学校コード表」から該当する番号を選び記入してください。

【送付・送信日】

申請書発送日		データ送信日(メール)	
--------	--	-------------	--

【事務担当部署・事務担当者】

郵便番号	都道府県	住所(都道府県以外)

担当	担当部署	担当者名	TEL	FAX	E-mail
派遣					
受入					

**記入要領
(記入例)**

※計画書に記載の内容は、シート「入力不要 JASSO use only」に反映されるように設定されていますので、行や列を増やしたり削除する変更はしないでください。

プログラム計画書1式につき、タイプA(6部)、タイプB(2部)提出する。
1~6(1~2)をナンバリングして記入

コピー連番

3

様式2

通し番号

形態別かつ申請タイプ別に通し番号を記

海外留学支援制度(協定派遣・協定受入)計画書

プログラム形態	申請タイプ	通し番号	H29年度採択プログラム番号	H28年度採択プログラム番号 (該当のみ)
双方向協定型	タイプA	1		

申請タイプ
タイプA又はタイプBを選択

【タイプB】
H29年度採択プログラム番号・H28年度採択プログラム番号(該当のみ)
同一プログラムの平成29年度及び平成28年度の採択プログラム番号(平成29年度採択プログラムがタイプBの場合のみ)を記入

コンソーシアム国内参加校名
(該当の場合のみ記入)

B大学、C大学

コンソーシアム国内参加校名
コンソーシアム単位での申請の場合のみ、実施代表校以外の学校名(国内のみ)全てを記入

1. プログラムの内容

プログラム名	日本学生支援大学短期交換留学プログラム	プログラム名 タイプAは、申請書(様式1)と必ず同じプログラム名を記入
(1)プログラムの概要(要約)	※プログラムの内容を簡潔に10行程度で記載してください。 なお、プログラムが採択された場合、こちらの内容を機構のホームページ等で公開する場合があります。	

○○××…

プログラム実施期間
1つのプログラムで、参加時期が異なる学生がいる場合は、開始時期が最も早い学生の開始年月から終了時期が最も遅い学生の終了年月を記入してください。

(2)プログラムの実施計画全般

プログラム期間(奨学金支給対象者のプログラム参加期間)

派遣	平成	30	年	4	月	～平成	31	年	7	月
受入	平成	30	年	6	月	～平成	31	年	5	月

(3)本制度による奨学金支援希望
派遣(受入に関する部分は、受入の入力欄に別途入力してください。)

フランス、マレーシア、ベトナム、中国

派遣 *複数ある場合、半角かき切ってください	総派遣計画人数【要注意】 プログラムに参加する全員の人数です。 奨学金支援を希望する人数ではありませんので、十分注意してください。	本制度による奨学金支援希望人数【要注意】 プログラムに参加する学生のうち、奨学金支援を希望する人数です。支援人数の上限については、募集要項、別紙を確認してください。				
---------------------------	--------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--

	指定都市	甲	乙	丙	計	
総派遣計画人数	2	0	10	8	20	名
支援希望人数	1	0	10	7	18	名
人月数(H30年度) A H30年4月～H31年3月分	4	0	30	22	56	人月
人月数(H31年度) B H31年4月～H32年3月分	0	0	10	24	34	人月

*人月数は、各支援希望学生の支援期間を31日で割った月数(小数点切り上げ)の総数を、年度ごとに記入

■人月数<記入例の算出方法>

※「平成30年度海外留学支援制度(協定派遣・協定受入)奨学金支給月数確認表」を参照してください。

支援希望人数(計18人):①フランス・パリ(指定)1人 ②マレーシア(乙)9人 ③ベトナム(乙)1人 ④中国(丙)7人

支給月数:①②③4月分 ④4月分(1人)・7月分(6人)

支援希望人月数: 計 90人月 内訳 ①(指定) 1人×4月分=4人月
②③(乙) 10人×4月分=40人月

受入

在籍大学所在国 *複数ある場合は半角カンマで区切ってください。	フランス、マレーシア、中国
------------------------------------	---------------

	地域区分	指定都市	甲	乙	丙	計	
	総受入計画人数	2	0	30	7	39	名
	支援希望人数	1	0	20	7	28	名
* 人月数は、各支援希望学生の支援期間を31日で割った月数(小数点切り上げ)の総数を、年度ごとに記入してください。	人月数(H30年度) A H30年4月～H31年3月分	10	0	60	35	105	人月
	人月数(H31年度) B H31年4月～H32年3月分	0	0	20	14	34	人月
	人月数(合計)A+B	10	0	80	49	139	人月

■支援希望人月数<記入例の算出方法>
 ※「平成30年度海外留学支援制度(協定派遣・協定受入)奨学金支給月数確認表」を参照してください。

支援希望人数(計28人):①フランス・パリ(指定)1人 ②マレーシア(乙)20人 ③中国(丙)7人
 支援期間:①10月分②4月分 ③7月分
 支援希望人月数:計139人月
 内訳
 ①(指定)1人×10月分=10人月 ②(乙)20人×4月分=80人月 ③(丙)7人×7月分=49人月

(4)プログラムの参加対象

派遣

対象となる学生	対象となる在籍大学等の学部・学科・研究科		学年			年次
	学部・学科	経済学部	第	3		
	対象となる学科・研究科は、各対象学生の在籍校における身分です。	研究科	M	全		
			D	全		

受入

対象となる学生	対象となる在籍大学等の学部・学科・研究科		学年			年次
	学部・学科	経済学部	第	3		
	研究科	全研究科	M	全		
			D	全		

(5)プログラムの目的・達成目標 【タイプB変更不可】

【タイプA】
 以下の点に留意して記入してください。

- ・国民にとって分かりやすい具体的な目的・目標が設定されているか。
- ・プログラムの形態に応じ、プログラムとして本制度の趣旨・目的を踏まえた達成目標が設定されているか。
- ・プログラムとしての達成目標は適切な水準に設定されているか。
- ・参加学生が達成すべき目標が示されているか。
- ・本プログラムにおいて養成しようとするグローバル人材像や質の高い留学生像が明確に設定されているか。

【タイプB】
 平成28年度又は平成29年度申請時に記載した内容を再掲してください。(内容変更不可)

(6)プログラムの計画	
①必要となる語学力水準の設定(派遣部分について) 【タイプB水準引き下げ不可】	
<p>以下の点に留意して記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要となる語学力水準が適切に設定されているか。 	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>【タイプB】【重要】 以下、原則として、平成28年度又は平成29年度申請時に記載した内容を再掲してください。変更がある場合は、変更内容を記入し、右欄に○を記入してください。</p> </div> <p style="text-align: right;">タイプB 変更</p>
②参加学生(プログラムに参加する全学生)の学習(研究)内容(派遣部分について)	
<p>以下の点に留意して記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加する学生の進路の選択や検討に対して触発・動機付けする内容が含まれているか。 ・参加する学生の語学力を向上させる内容となっているか。 ・インターンシップやフィールドワークが組み込まれている場合、参加する学生の専攻に応じ、効果的な内容となっているか。 ・より長期間の留学に向けた動機付けを高める効果を見込めるプログラムであるか。 ・学生派遣及び学生受入の双方向を重視するプログラム内容となっているか。【双方向協定型のみ】 	<p style="text-align: right;">タイプB 変更</p>
③参加学生(プログラムに参加する全学生)の学習(研究)内容(受入部分について)	
<p>以下の点に留意して記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加する学生の進路の選択や検討に対して触発・動機付けする内容が含まれているか。 ・インターンシップやフィールドワークが組み込まれている場合、参加する学生の専攻に応じ、効果的な内容となっているか。 ・より長期間の留学に向けた動機付けを高める効果を見込めるプログラムであるか。 ・学生派遣及び学生受入の双方向を重視するプログラム内容となっているか。【双方向協定型のみ】 	<p style="text-align: right;">タイプB 変更</p>
④派遣先大学等における現地学生との交流計画(派遣部分について)	
<p>以下の点に留意して記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣先大学等における現地学生との交流が適切に組み込まれているか。 	<p style="text-align: right;">タイプB 変更</p>
⑤受入大学等における日本人学生との交流計画(受入部分について)	
<p>以下の点に留意して記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入大学等における日本人学生との交流が適切に組み込まれているか。 	<p style="text-align: right;">タイプB 変更</p>
⑥プログラムの全参加人数及び奨学金支給割当希望人数の計画の考え方	
<p>以下の点に留意して記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラムとして成立する参加人数が適切に確保されているか。 ・プログラムによる総派遣計画数に対し、本制度による支援希望者の割合は適切か。 	<p style="text-align: right;">タイプB 変更</p>

(7)単位付与、成績証明書、修了証		【タイプB】【重要】 以下、原則として、平成28年度又は平成29年度申請時に記載した内容を再掲してください。 変更がある場合は、変更する内容を記入し、右欄に○を記入してください。					
派遣							
①単位付与・単位認定・単位互換の方法 (単位による修学成果測定が行われな							
以下の点に留意して記入してください。 ・単位取得、単位付与、単位認定方法が確立、義務化されているか。(派遣先大学等での単位取得、在籍大学等の科目としての単位付与、派遣先大学等で得た単位の在籍大学等での単位認定。) ・単位による修学成果測定が行われな場合、これに代わる修学成果測定の方法が確立されているか。						タイプB 変更	
有、有(一部無含む)、無をプルダウンから選択してください。							
在籍大学等が 付与、認定、発行する	単位	有	成績証明書	無	修了証	有	
派遣先大学等が 付与、認定、発行する	単位	有	成績証明書	有	修了証	有	
②【31日以内のプログラムのみ記載】 履修科目との一体化・派遣前準備講習・派遣後フォローアップ講義等と併せる等により効果を高める取組							
【短期研修・研究型のみ】 以下の点に留意して記入してください。 ・履修科目との一体化や派遣前の準備講習や派遣後のフォローアップを目的とした語学や専門科目の講義等と併せることにより効果(単位付与等)のあるプログラム内容となっているか。						タイプB 変更	
受入							
①単位付与・単位認定・単位互換の方法 (単位による修学成果測定が行われな場合、これに代わる修学成果測定の方法)							
以下の点に留意して記入してください。 ・単位取得、単位付与、単位認定方法が確立、義務化されているか。(受入大学等での単位取得、在籍大学等の科目としての単位付与、受入大学等で得た単位の在籍大学等での単位認定。) ・単位による修学成果測定が行われな場合、これに代わる修学成果測定の方法が確立されているか。						タイプB 変更	
有、有(一部無含む)、無をプルダウンから選択してください。							
在籍大学等が 付与、認定、発行する	単位	有					
受入大学等が 付与、認定、発行する	単位	有	成績証明書	無	修了証	無	
②【31日以内のプログラムのみ記載】 履修科目との一体化や語学、専門科目の講義等と併せる等により効果を高める取組							
【短期研修・研究型のみ】 以下の点に留意して記入してください。 ・履修科目との一体化や語学、専門科目の講義等と併せることにより効果(単位付与等)のあるプログラム内容となっているか。						タイプB 変更	

2. 実施体制

プログラムの責任者・代表者	所属課	()	<input type="checkbox"/>
派遣			
(1)参加学生(プログラムに参加する全学生)			
以下の点に留意して記入してください。 ・プログラム参加学生の募集・選抜が適切に行われているか。			タイプB 変更
(2)派遣学生(支援希望学生)の選考基準 (成績評価係数2.30相当以上(3.00満点)と認められることは資格及び要件として必須です)			
派遣学生(支援希望学生)の選考基準について記入してください。 また、入学1年目の1学期目や、評価が「合格」「不合格」しかない場合等、 成績評価係数を表すことができない者 の選考が想定される場合は、判断材料(人物像・熱意は除く)及び基準値を示してください。			タイプB 変更
(3)参加学生に対する支援体制 参加学生(プログラムに参加する全学生)に対する情報提供・生活支援			
以下の点に留意して記入してください。 ・参加学生に対する情報の提供は適切に行われているか。 ・単位認定について参加学生が事前に把握できるものとなっているか。 ・学生の派遣先での生活支援体制が整備されているか。 (宿舎が用意されているか、宿舎が適正な値段で借りられるか、生活面で困ったこと等が生じた学生へのサポート体制が整っているか等)			タイプB 変更
(4)管理体制、危機管理体制、プログラム実施に携わる教職員の国際経験(語学力、協定締結や学生交流プログラムの実施経験等)			
<input type="radio"/>	申請書提出にあたり、プログラム実施に携わる教職員の「 大学における海外留学に関する危機管理ガイドライン 」(平成29年度版)を十分に確認しているか。		
以下の点に留意して記入してください。 ・学生の派遣に対する危機管理が適切に配慮されているか。 ・プログラム実施に携わる教職員がノウハウ(語学力や過去の実施経験等)を適切に有しているか。			タイプB 変更
受入			
(1)参加学生(プログラムに参加する全学生)の募集・選抜方法			
以下の点に留意して記入してください。 ・在籍大学等において、プログラム参加学生の募集・選抜が適切に行われているか。			タイプB 変更
(2)受入学生(支援希望学生)の選考基準 (成績評価係数2.30相当以上(3.00満点)と認められることは資格及び要件として必須です)			
受入学生(支援希望学生)の選考基準について記入してください。 また、入学1年目の1学期目や、評価が「合格」「不合格」しかない場合等、 成績評価係数を表すことができない者 の選考が想定される場合は、判断材料(人物像・熱意は除く)及び基準値を示してください。			タイプB 変更
(3)参加学生に対する支援体制 参加学生(プログラムに参加する全学生)に対する情報提供・生活支援			
以下の点に留意して記入してください。 ・参加学生に対する情報の提供は適切に行われているか。 ・単位認定について参加学生が事前に把握できるものとなっているか。 ・学生の受入先での生活支援体制が整備されているか。 (宿舎が用意されているか、宿舎が適正な値段で借りられるか、生活面で困ったこと等が生じた学生へのサポート体制が整っているか等)			タイプB 変更
(4)管理体制、危機管理体制、プログラム実施に携わる教職員の国際経験(語学力、協定締結や学生交流プログラムの実施経験等)			
以下の点に留意して記入してください。 ・学生の受入に対する危機管理が適切に配慮されているか。 ・プログラム実施に携わる教職員がノウハウ(語学力や過去の実施経験等)を適切に有しているか。			タイプB 変更

【タイプB】【重要】

以下、原則として、平成28年度又は平成29年度申請時に記載した内容を再掲してください。
変更がある場合は、変更する内容を記入し、右欄に○を記入してください。

【重要】

「大学における海外留学に関する危機管理ガイドライン」を十分に確認している場合、右欄に○を記入してください。

3. フォロワー【タイプB】【重要】

(1) フォロワー参加学生	以下、原則として、平成28年度又は平成29年度申請時に記載した内容を再掲してください。変更がある場合は、変更する内容を記入し、右欄に○を記入してください。	参加
	以下の点に留意して記入してください。 ・参加学生の派遣前、派遣後の効果測定や意識の変化を適切に把握しているか。 ・プログラムに参加した学生と参加していない学生との比較調査等、自己点検を実施し、プログラムの成果を測ることが予定されているか。	タイプB 変更
(2) フォロワー参加学生(受入部分について)	参加学生(プログラムに参加する全学生)の受入前、受入後の効果測定や意識の変化の把握状況、自己点検による成果確認	
	以下の点に留意して記入してください。 ・受入学生の受入前、受入後の効果測定や意識の変化を適切に把握しているか。 ・自己点検を実施し、プログラムの成果を測ることが予定されているか。	タイプB 変更
(3) 成果報告・発信	実施報告会・シンポジウム開催・SNSの活用等による成果の発信・波及	
	以下の点に留意して記入してください。 ・実施報告会やシンポジウム、SNSの活用等によりプログラム実施の成果を波及させる取	タイプB 変更
(4) 機構が実施する各種調査への協力体制		
	以下の点に留意して記入してください。 (各種調査への協力体制は申請要件のため、必ず記入してください。) ・機構が実施する各種調査に協力できる体制であるか。 ・奨学金を受けた学生について、自校に在学中はフォローアップのための追跡調査(※)に協力できる管理体制を有しているか。 ※追跡調査:プログラム参加学生のプログラムに参加する効果(成績推移、学習意欲の向上、長期留学への意識向上、卒業後の進路等)についての調査	タイプB 変更

4. プログラムの自立化・発展性・継続性

(1) フォロワー参加学生(受入部分について)	以下の点に留意して記入してください。 ・プログラムの継続・発展のためにフォローアップ・成果検証結果を活用し、自立的な改善	タイプB 変更						
(2) 派遣・受入計画								
① プログラムの過去の実績								
過去3年間の当該プログラム派遣・受入学生実績数(又は予定数) ※本制度奨学金受給者の実績がある場合は、プログラム番号(複数ある場合は半角カンマ区切り)を記載	平成29年度	総派遣学生数	25	名	(内、本制度奨学金受給者数	15	名)	
		総受入学生数	25	名	(内、本制度奨学金受給者数	18	名)	
	プログラム番号		WSA17○□▲○▽□					
	平成28年度	総派遣学生数	25	名	(内、本制度奨学金受給者数	15	名)	
		総受入学生数	25	名	(内、本制度奨学金受給者数	18	名)	
	プログラム番号		WSK16●□▲○▽■					
平成27年度	総派遣学生数		名	(内、本制度奨学金受給者数		名)		
	総受入学生数		名	(内、本制度奨学金受給者数		名)		
プログラム番号								
特にアピールすべき過去の実績	特にアピールすべき過去の実績があれば、記入してください。							
② 翌年度以降の実施計画								
	以下の点に留意して記入してください。 ・次年度以降も実施の計画があるプログラムか。							
(3) プログラム実施のための本制度以外の財源確保の取組(奨学金の確保・実施経費の確保)								
	以下の点に留意して記入してください。 ・本制度以外でプログラム実施のための財源確保のための取組はなされているか。							

双方向協定型 計画書 別表

【重要】
プログラム申請要件及び奨学金支給対象者の要件のため、必ず各派遣先・連携先機関を確認した上で、左欄に○を記入してください。

★ 入力ルール
① 英字は半角大文字 ② 数字は半角

(自動入力)

学校コード	326000	大学等名	A大学	プログラム形態	双方向協定型	タイプA	1	プログラム名	日本学生支援大学短期交換留学プログラム
-------	--------	------	-----	---------	--------	------	---	--------	---------------------

○ 申請書提出にあたり、派遣先・連携先機関が、外務省の海外安全ホームページ上の「レベル2」以上に該当している地域でないことを確認しています。

○ プログラム採択後に、派遣先大学等が「レベル2」以上の資格を取り消すことに同意します。

学生を派遣・受入を実施する期間で最も短期間になる日数について、以下のいずれかを▼ドロッパダウンリストから選択してください。
* 「双方向協定型」
「90日未満」、「90日以上」
* 「短期研修・研究型」
「31日以内」、「32日以上90日未満」、「90日以上」
※ 「短期研修・研究型」で「31日以内」を選択した場合、様式2(3頁)の該当項目に必ず記載してください。

〈派遣〉

No.	国・地域コード	地域区分	国名	都市名	派遣先大学等(高等教育機関等)		英語名称	日本語名称	英語名称	協定文書(予定含む)	授業料不徴収・授業料免除	宿舎手配	互換・単位認定	派遣日数	奨学金支援希望人数
					英語名称	日本語名称									
1	112	マレーシア	クアラルンプール	マレーシア	マレーシア国立大学	マレーシア国立大学	マレーシア国立大学	マレーシア国立大学	協定	有	有	有	有	90日未満	100
2	791	フランス	指定/パリ	パリ	パリ大学	パリ大学	パリ大学	パリ大学	予定	追加予定	追加予定	追加予定	追加予定	90日以上	50
合計															150

単位互換・単位認定の有無について、「有」、「無」、「追加予定」のいずれかを▼ドロッパダウンリストから選択してください。

協定・合意文書における授業料不徴収・授業料免除、宿舎手配に関する事項の有無について、「有」、「無」、「追加予定」のいずれかを▼ドロッパダウンリストから選択してください。

プログラム開始前までに協定・合意文書に当該事項が追加される場合は「追加予定」を選択してください。

「授業料不徴収・授業料免除」について、協定文書に記載はないが学則等にその内容が含まれている場合は「有」としてください。

奨学金支援希望人数を記入してください。

各大学ごとの奨学金の支援希望人数を記入してください。

協定・合意文書に当該事項が追加される場合は「追加予定」を選択してください。

プログラム開始前までに協定・合意文書に当該事項が追加される場合は「追加予定」を選択してください。

「授業料不徴収・授業料免除」について、協定文書に記載はないが学則等にその内容が含まれている場合は「有」としてください。

No.	国・地域コード	地域区分	国名	都市名	派遣先大学等(高等教育機関等)		英語名称	日本語名称	英語名称	協定文書(予定含む)	授業料不徴収・授業料免除	宿舎手配	互換・単位認定	派遣日数	奨学金支援希望人数
					英語名称	日本語名称									
1	121	ベトナム	ハノイ	ハノイ	FOREIGN TRADE U	FOREIGN TRADE U	FOREIGN TRADE U	FOREIGN TRADE U	追加予定	追加予定	追加予定	追加予定	追加予定	90日以上	80
2	791	フランス	指定/パリ	パリ	パリ大学	パリ大学	パリ大学	パリ大学	追加予定	追加予定	追加予定	追加予定	追加予定	90日未満	10
合計															90

※ 同じ大学等で協定文書が学部ごと等の場合、キャンパスが異なる場合(分校)や国名、都市名が異なる場合は、それぞれ1行ごとに記載してください。

※ 協定文書等について、「C協定」、「C合意」を選択した場合、コンソーシアムに参加し、学生交流の可能性のある派遣先・連携先機関、諸外国の在籍大学等を行ごとに記載してください。

※ 「派遣先大学等(高等教育機関)以外の連携機関」へのみ派遣する場合、単位認定が「有」となるものしか受け付けられないので、注意してください。

※ 協定文書等について「予定」を選択した場合、プログラム開始前までに協定文書等の締結が完了していない場合は、支援の対象となりません。

※ 「双方向協定型」での申請の場合、授業料不徴収・授業料免除については、「有」もしくは「追加予定」となるものしか受け付けられないので、注意してください。

※ 「双方向協定型」での申請の場合、派遣日数・受入日数について「90日未満」を選択した場合、当該日数をもって1セメスターとする根拠について文書を提出してください。

※ 別表に記載の奨学金支援希望人数と、様式2に記載の奨学金希望人数が一致しない場合は、様式2の人数を優先します。

--

平成30年度海外留学支援制度(協定派遣・協定受入)計画書

プログラム形態	申請タイプ	通し番号	H29年度採択プログラム番号	H28年度採択プログラム番号 (該当のみ)
双方向協定型				

学校コード		大学等所在地	
国内大学等名		国公立設置形態	
コンソーシアム 国内参加校名 (該当の場合のみ記入)		※複数の学校が共同でプログラムを実施する場合、コンソーシアムとして申請することができます。コンソーシアム単位での申請の場合、「コンソーシアム国内参加校名」欄に代表校以外の参加校名を記入(複数ある場合は半角カンマ区切り)	

1. プログラムの内容

プログラム名	
--------	--

(1) プログラムの概要(要約)

※プログラムの内容を簡潔に10行程度で記載してください。

なお、プログラムが採択された場合、こちらの内容を機構のホームページ等で公開する場合があります。

--

(2) プログラムの実施計画全般

プログラム期間(奨学金支給対象者のプログラム参加期間)

派遣	平成		年		月～平成		年		月
受入	平成		年		月～平成		年		月

(3) 本制度による奨学金支援希望

派遣(受入に関する部分は、受入の入力欄に別途入力してください。)

派遣先国 *複数ある場合は 半角カンマで区 切ってください。						
	地域区分	指定都市	甲	乙	丙	計
	総派遣計画人数					0 名
	支援希望人数					0 名
* 人月数は、各支援 希望学生の支援期間 を31日で割った月数 (小数点切り上げ)の 総数を、年度ごとに記 入してください。	人月数(H30年度) A H30年4月～H31年3月分					0 人月
	人月数(H31年度) B H31年4月～H32年3月分					0 人月
	人月数(合計)A+B	0	0	0	0	0 人月

学校コード		国内大学等名	
プログラム名			

受入

在籍大学所在国
*複数ある場合は
半角カンマで区
切ってください。

--	--	--	--	--	--	--

* 人月数は、各支援 希望学生の支援期間 を31日で割った月数 (小数点切り上げ)の 総数を、年度ごとに記 入してください。	地域区分	指定都市	甲	乙	丙	計	
	総受入計画人数					0	名
	支援希望人数					0	名
	人月数(H30年度) A H30年4月～H31年3月分					0	人月
	人月数(H31年度) B H31年4月～H32年3月分					0	人月
人月数(合計)A+B	0	0	0	0	0	人月	

(4)プログラムの参加対象

派遣

対象となる学生	対象となる在籍大学等の学部・学科・研究科		学年		年次
	学部・学科		第		
	研究科		M		
			D		

受入

対象となる学生	対象となる在籍大学等の学部・学科・研究科		学年		年次
	学部・学科		第		
	研究科		M		
			D		

(5)プログラムの目的・達成目標

【タイプB変更不可】

--	--	--	--	--	--

学校コード		国内大学等名	
プログラム名			

(6) プログラムの計画

① 必要となる語学力水準の設定 (派遣部分について) 【タイプB水準引き下げ不可】

	タイプB 変更

② 参加学生(プログラムに参加する全学生)の学習(研究)内容 (派遣部分について)

	タイプB 変更

③ 参加学生(プログラムに参加する全学生)の学習(研究)内容 (受入部分について)

	タイプB 変更

④ 派遣先大学等における現地学生との交流計画 (派遣部分について)

	タイプB 変更

⑤ 受入大学等における日本人学生との交流計画 (受入部分について)

	タイプB 変更

⑥ プログラムの全参加人数及び奨学金支給割当希望人数の計画の考え方

	タイプB 変更

学校コード		国内大学等名	
プログラム名			

(7) 単位付与、成績証明書、修了証

派遣

① 単位付与・単位認定・単位互換の方法
(単位による修学成果測定が行われない場合、これに代わる修学成果測定の方法)

						タイプB 変更
在籍大学等が 付与、認定、発行する	単位		成績証明書		修了証	
派遣先大学等が 付与、認定、発行する	単位		成績証明書		修了証	

受入

① 単位付与・単位認定・単位互換の方法
(単位による修学成果測定が行われない場合、これに代わる修学成果測定の方法)

						タイプB 変更
在籍大学等が 付与、認定、発行する	単位		成績証明書		修了証	
受入大学等が 付与、認定、発行する	単位		成績証明書		修了証	

2. 実施体制

プログラムの 責任者・代表者	所属課		氏名	
-------------------	-----	--	----	--

派遣

(1) 参加学生(プログラムに参加する全学生)の募集・選抜方法

						タイプB 変更

(2) 派遣学生(支援希望学生)の選考基準
(成績評価係数2.30相当以上(3.00満点)と認められることは資格及び要件として必須です)

						タイプB 変更

学校コード		国内大学等名	
プログラム名			

派遣

(3) 参加学生に対する支援体制

参加学生(プログラムに参加する全学生)に対する情報提供・生活支援

	タイプB 変更

(4) 管理体制、危機管理体制、プログラム実施に携わる教職員の国際経験

(語学力、協定締結や学生交流プログラムの実施経験等)

	申請書提出にあたり、プログラムの計画の申請にあたり、「大学における海外留学に関する危機管理ガイドライン」(平成29年3月31日 大学における海外留学に関する危機管理ガイドライン作成検討会)を十分に確認しています。
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	タイプB 変更

受入

(1) 参加学生(プログラムに参加する全学生)の募集・選抜方法

	タイプB 変更

(2) 受入学生(支援希望学生)の選考基準

(成績評価係数2.30相当以上(3.00満点)と認められることは資格及び要件として必須です)

	タイプB 変更

(3) 参加学生に対する支援体制

参加学生(プログラムに参加する全学生)に対する情報提供・生活支援

	タイプB 変更

(4) 管理体制、危機管理体制、プログラム実施に携わる教職員の国際経験

(語学力、協定締結や学生交流プログラムの実施経験等)

	タイプB 変更

学校コード		国内大学等名	
プログラム名			

3. フォローアップ・成果検証の実施

(1) フォローアップ(派遣部分について)

参加学生(プログラムに参加する全学生)の派遣前、派遣後の効果測定や意識の変化の把握状況、参加学生・不参加学生の比較調査等、自己点検による成果確認

	タイプB 変更

(2) フォローアップ(受入部分について)

参加学生(プログラムに参加する全学生)の受入前、受入後の効果測定や意識の変化の把握状況、自己点検による成果確認

	タイプB 変更

(3) 成果報告・発信

実施報告会・シンポジウム開催・SNSの活用等による成果の発信・波及

	タイプB 変更

(4) 機構が実施する各種調査への協力体制

	タイプB 変更

4. プログラムの自立化・発展性・継続性

(1) フォローアップ・成果検証をプログラムの継続、発展のために活用し、自立的な改善を図る体制

	タイプB 変更

(2) 派遣・受入計画

① プログラムの過去の実績

過去3年間の 当該プログラム 派遣・受入学生 実績数 (又は予定数) ※本制度奨学金受給 者の実績がある場合 は、プログラム番号 (複数ある場合は半 角カンマ区切り)を記 載	平成29年度	総派遣学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名)
		総受入学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名)
		プログラム番号				
	平成28年度	総派遣学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名)
		総受入学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名)
		プログラム番号				
	平成27年度	総派遣学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名)
		総受入学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名)
		プログラム番号				

特にアピールす
べき過去の実績

--

(3) プログラム実施のための本制度以外の財源確保の取組(奨学金の確保・実施経費の確保)

--

平成30年度海外留学支援制度(協定派遣)計画書

プログラム形態	申請タイプ	通し番号	H29年度採択プログラム番号	H28年度採択プログラム番号 (該当のみ)
短期研修・研究型				

学校コード		大学等所在地	
国内大学等名		国公立設置形態	
コンソーシアム 国内参加校名 (該当の場合のみ記入)	※複数の学校が共同でプログラムを実施する場合、コンソーシアムとして申請することができます。コンソーシアム単位での申請の場合、「コンソーシアム国内参加校名」欄に代表校以外の参加校名を記入(複数ある場合は半角カンマ区切り)		

1. プログラムの内容

プログラム名	
--------	--

(1) プログラムの概要(要約)

※プログラムの内容を簡潔に10行程度で記載してください。
 なお、プログラムが採択された場合、こちらの内容を機構のホームページ等で公開する場合があります。

--

(2) プログラムの実施計画全般

プログラム期間 (奨学金支給対象者の プログラム参加期間)	平成		年		月～平成		年		月
-------------------------------------	----	--	---	--	------	--	---	--	---

(3) 本制度による奨学金支援希望

派遣先国 *複数ある場合は 半角カンマで区 切ってください。							
* 人月数は、各支援 希望学生の支援期間 を31日で割った月数 (小数点切り上げ)の 総数を、年度ごとに 記入してください。	地域区分	指定都市	甲	乙	丙	計	
	総派遣計画人数					0	名
	支援希望人数					0	名
	人月数(H30年度) A H30年4月～H31年3月分					0	人月
	人月数(H31年度) B H31年4月～H32年3月分					0	人月
人月数(合計) A+B	0	0	0	0	0	人月	

(4) プログラムの参加対象

対象となる学生	対象となる在籍大学等の学部・学科・研究科		学年	
	学部・学科		第	
	研究科		M	
			D	年次

学校コード		国内大学等名	
プログラム名			

(5)プログラムの目的・達成目標	【タイプB変更不可】
------------------	-------------------

--

(6)プログラムの計画

①必要となる語学力水準の設定	【タイプB水準引き下げ不可】
----------------	-----------------------

	タイプB 変更

②参加学生(プログラムに参加する全学生)の学習(研究)内容

	タイプB 変更

③派遣先大学等における現地学生との交流計画

	タイプB 変更

④プログラムの全参加人数及び奨学金支給割当希望人数の計画の考え方

	タイプB 変更

学校コード		国内大学等名	
プログラム名			

(7) 単位付与、成績証明書、修了証						
① 単位付与・単位認定・単位互換の方法 (単位による修学成果測定が行われない場合、これに代わる修学成果測定の方法)						
						タイプB 変更
在籍大学等が 付与、認定、発行する	単位		成績証明書		修了証	
派遣先大学等が 付与、認定、発行する	単位		成績証明書		修了証	
②【31日以内のプログラムのみ記載】 履修科目との一体化や語学、専門科目の講義等と併せる等により効果を高める取組						
						タイプB 変更

2. 実施体制

プログラムの 責任者・代表者	所属課		氏名	
(1) 参加学生(プログラムに参加する全学生)の募集・選抜方法				
				タイプB 変更
(2) 派遣学生(支援希望学生)の選考基準 (成績評価係数2.30相当以上(3.00満点)と認められることは資格及び要件として必須です)				
				タイプB 変更
(3) 参加学生に対する支援体制 参加学生(プログラムに参加する全学生)に対する情報提供・生活支援				
				タイプB 変更
(4) 管理体制、危機管理体制、プログラム実施に携わる教職員の国際経験 (語学力、協定締結や学生交流プログラムの実施経験等)				
	申請書提出にあたり、プログラムの計画の申請にあたり、「大学における海外留学に関する危機管理ガイドライン」(平成29年3月31日 大学における海外留学に関する危機管理ガイドライン作成検討会)を十分に確認しています。			
				タイプB 変更

学校コード		国内大学等名	
プログラム名			

3. フォローアップ・成果検証の実施

(1)フォローアップ 参加学生(プログラムに参加する全学生)の派遣前、派遣後の効果測定や意識の変化の把握状況、参加学生・不参加学生の比較調査等、自己点検による成果確認		タイプB 変更
(2)成果報告・発信 実施報告会・シンポジウム開催・SNSの活用等による成果の発信・波及		タイプB 変更
(3)機構が実施する各種調査への協力体制		タイプB 変更

4. プログラムの自立化・発展性・継続性

(1)フォローアップ・成果検証をプログラムの継続、発展のために活用し、自立的な改善を図る体制		タイプB 変更				
(2)派遣計画						
①プログラムの過去の実績						
過去3年間の 当該プログラム 派遣学生実績数 (又は予定数) <small>※本制度奨学金受給者の 実績がある場合は、プログラ ム番号(複数ある場合は 半角カンマ区切り)を記載</small>	平成29年度	総派遣学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名)
		プログラム番号				
	平成28年度	総派遣学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名)
		プログラム番号				
	平成27年度	総派遣学生数		名 (内、本制度奨学金受給者数		名)
		プログラム番号				
特にアピールす べき過去の実績						
②翌年度以降の実施計画						
(3)プログラム実施のための本制度以外の財源確保の取組(奨学金の確保・実施経費の確保)						

平成30年度海外留学支援制度(協定派遣) 提出前チェック表

学生交流創成タイプ(タイプA)

A 短 派

学校コード	
大学等名	
記入日	
形態	協定派遣:短期研修・研究型

(注)・各チェック項目を確認後、「大学等」の欄に**全て**チェックしてください(JASSO欄は空欄のままとしてください。)・プログラム申請No.は「様式2」の通し番号と同じ順番にしてください。

プログラム申請No.										
------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

確認箇所	チェック項目	確認欄									
		大学等	JASSO	大学等	JASSO	大学等	JASSO	大学等	JASSO	大学等	JASSO
様式2、別表	ア	申請するタイプ(タイプA)を正しく選択したか。申請する形態(協定派遣:短期研修・研究型)に合った様式に記入したか。									
	イ	「様式2」、「別表」は、1プログラムにつき、6部ずつ用意したか。[P.1]右上にコピー連番(1~6)を記入したか。									
様式2	ウ	[P.1]『(2)プログラムの実施計画全般』の”プログラム期間”について、正しく記入したか。 ※開始は”平成30年4月”から”平成31年3月”までの間、終了は”平成32年3月”以前になります。									
	エ	【重要】[P.1]『(3)本制度による奨学金支援希望』の”総派遣計画人数”を記入したか。 ※参加学生(プログラムに参加する全学生)の数を記載してください。									
	オ	【重要】[P.1]『(3)本制度による奨学金支援希望』の”支援希望人数”を記入したか。”総派遣計画人数”以下の人数になっているか。(100名を超える場合には、100名以下にしてください。) ※本制度の奨学金支給希望者数を記載してください。									
	カ	【重要】[P.1]『(3)本制度による奨学金支援希望』の”人月数(H30年度)A”、”人月数(H31年度)B”に、それぞれ人月数を正しく記入したか。									
	キ	【重要】[P.1]上記エ~カの各項目について、「募集要項別表」及び「国・地域コード表」で地域区分を確認した上で、正しく記入したか。									
	ク	[P.2]参加に必要な語学水準を適切に設定しているか。									
	ケ	[P.3]31日以内のプログラムの場合、履修科目との一体化や語学、専門科目の講義等と併せる等による効果を高める取組について、記入したか。									
	コ	【重要】[P.3](4)「大学における海外留学に関する危機管理ガイドライン」を確認したか。									
	サ	[P.4]奨学金を受けた学生について、フォローアップのための追跡調査に協力できる管理体制を有しているか。									
	別表	シ	【重要】派遣先・連携先機関が、外務省の海外安全ホームページ上の「レベル2」以上に該当している地域でないことを確認したか。								
ス		【重要】プログラム採択後に、派遣先大学等が「レベル2」以上に該当する地域になった場合は、派遣時期や派遣先大学等の変更、又は奨学金支給対象者としての資格を取り消すことに同意したか。									
別表	セ	派遣先・連携先機関について、高等教育機関の場合は、”派遣先大学等(高等教育機関)”の”英語名称”、”日本語名称”の欄に、大学等名を記入しているか。 ※コンソーシアム協定(C協定)及びコンソーシアム合意(C合意)を締結している場合は、コンソーシアムに参加する全ての”派遣先・連携先機関”を記載してください。									
	ソ	【重要】派遣先・連携先機関について、高等教育機関以外の場合は、”派遣先大学等(高等教育機関)以外の連携機関”の”英語名称”の欄に、機関を記入しているか。また、”単位互換・単位認定”の欄に”有”と記入しているか。 ※注:協定(合意)内容に単位互換・単位認定の記載がない場合であっても、実際に単位付与が行われる場合は”有”を選択してください。									
	タ	【重要】”国・地域コード”について、「募集要項別表」及び「国・地域コード表」で地域区分を確認した上で、正しく記入したか。 ※指定都市の国・地域コードは通常の国・地域コードとは異なります。ご注意ください。									
	チ	”協定・合意文書”欄について、”協定”、”C協定”、”合意”、”C合意”又は”予定”を選択しているか。									
様式2、別表	ツ	”派遣日数”欄について、”31日以内”、”32日以上90日未満”又は”90日以上”を選択したか。“31日以内”を選択した場合、「様式2」P3の該当箇所を記入したか。									
	テ	”奨学金支援希望人数”は、「様式2」([P.1])の”支援希望人数”とそれぞれ一致しているか。一致していない場合は、様式2の人数を優先します。									
様式1 様式2 別表	ト	「様式1」、「様式2」、「別表」の入力が必要な項目を全て記入したか。									
	ナ	今回郵送で提出する書類と”同じ内容”のファイルを、所定のパスワードをかけてEメールで添付し、送信したか。 ※メール送付先は”seep@jasso.go.jp”になります。ご注意ください。									
	ニ	「様式1」、「様式2」、「別表」を、提出期間(10月2日(月)~10月19日(木)必着)に間に合うよう、郵送する準備をしたか。 ※提出前チェック表(本紙)も同封してください。									

平成30年度海外留学支援制度(協定派遣・協定受入) 書類・データ提出要領

日本学生支援機構 留学生事業部 海外留学支援課

タイプ	様式番号	様式等名称	郵送(部数)	データ	説明	
AB		記入・作成上の注意			(1) エクセルファイルは全て、Microsoft Office 2010(.xlsx)で作成してあります。バージョンは絶対に変更しないでください。 (2) ブック及びシートの保護は解除できません。 (3) 項目の追加や削除、順序の変更は、一切行わないでください。 (4) 図の添付や別紙の添付は控えてください。 (5) 記入要領(記入例)に従って入力してください。 (6) 入力にはパソコンを使用し、文字の大きさは10ポイントを目安に作成してください。多少小さくなくても構いませんが、印刷したときに十分に読める大きさにしてください(文字フォントの種類は問いません)。 (7) セルのサイズを調整しても構いませんが、項目が次のページに移らない範囲で変更してください。 (8) 表記は日本語又は英語としてください。 (9) 「学校コード」は別添の「海外留学支援制度学校コード表」を参照してください。 (10) コンソーシアム単位でプログラムを申請する場合は、事務を統括する代表校が作成してください。 (11) 全ての書類について必ず左横に2穴をあけてください。印刷の色(カラー・白黒)は問いません。	
AB	様式1	申請書	○ (1)	○	(1) 片面印刷にしてください。	
A	様式2	計画書・別表	○ (6)	○	(1) 両面印刷(長辺・左とじ)にしてください。 (2) 1プログラムにつき、6部ずつ用意してください。1ページ目右上(右肩)にコピー連番(1~6)を記入してください。 (3) 計画書・別紙は1部ごとに左上1か所をクリップどめしてください。 (4) 1プログラム6部ごとにダブルクリップでとめてください。 (5) 1つのエクセルファイルにプログラムを5件分まで入力できます。5件を超える場合は、ファイルをコピーし、新たに作成してください。 (6) タイプごとにエクセルファイルを作成してください。	
	—	提出前チェック表	○ (1) (形態ごと)	—	(1) 形態別(双方向協定型/短期研修・研究型(協定派遣)/短期研修・研究型(協定受入))に作成してください。 (2) 片面印刷にしてください。 (3) 複数枚になる場合は、左上をクリップどめしてください。	
B	様式2	計画書・別表	○ (2)	○	(1) 両面印刷(長辺・左とじ)にしてください。 (2) 1プログラムにつき、2部ずつ用意してください。1ページ目右上(右肩)にコピー連番(1~2)を記入してください。 (3) 計画書・別紙は1部ごとに左上1か所をクリップどめしてください。 (4) 1つのエクセルファイルにプログラムを5件分まで入力できます。5件を超える場合は、ファイルをコピーし、新たに作成してください。 (5) タイプごとにエクセルファイルを作成してください。	
	様式3	プログラム実施・進捗状況	○ (2)	○	(1) 両面印刷(長辺・左とじ)にしてください。 (2) 1プログラムにつき、2部ずつ用意してください。1ページ目右上(右肩)にコピー連番(1~2)を記入してください。 (3) 1部ごとに左上1か所をクリップどめしてください。 (4) 1つのエクセルファイルにプログラムを5件分まで入力できます。5件を超える場合は、ファイルをコピーし、新たに作成してください。	
	様式G	平成28年度実施報告書	○ (2)	—	【平成29年度タイプB採択プログラムで平成29年8月31日までにプログラムが終了している場合】 (1) 写し(コピー)を2部用意してください。 (2) 両面印刷(短辺・左とじ)にしてください。 (3) 1部ごとに左上1か所をクリップどめしてください。 (4) 1ページ目右上(右肩)の空白にコピー連番(1~2)を記入してください。	
	様式G	平成29年度実施報告書	○ (2)	—	【平成29年度タイプA・タイプB採択プログラムで平成29年8月31日までにプログラムが終了している場合】 (1) 写し(コピー)を2部用意してください。 (2) 両面印刷(長辺・左とじ)にしてください。 (3) 1部ごとに左上1か所をクリップどめしてください。 (4) 1ページ目右上(右肩)の空白にコピー連番(1~2)を記入してください。	
	様式2, 3, G					(1) 様式2, 3, G各2部をまとめてプログラムごとにダブルクリップでとめてください。
	—	提出前チェック表		○ 1 (形態ごと)	—	(1) 形態別(双方向協定型/短期研修・研究型(協定派遣)/短期研修・研究型(協定受入))に作成してください。 (2) 片面印刷にしてください。 (3) 複数枚になる場合は、左上をクリップどめしてください。

タイプ	様式番号	様式等名称	郵送(部数)	データ	説明
AB		封入方法			<p>(1) 形態別(双方向協定型/短期研修・研究型(協定派遣)/短期研修・研究型(協定受入))かつタイプ別に封筒を分けて入れてください。</p> <p>(2) 1つの形態・タイプにつき、複数のプログラムを申請する場合は、プログラムの通し番号1番から番号順に封筒に入れてください。</p> <p>(3) 封筒の表に次の4点を明記してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> プログラム形態(双方向協定型/短期研修・研究型(協定派遣)/短期研修・研究型(協定受入)) <input type="checkbox"/> タイプ(封筒の左上に「A」又は「B」と朱書してください。) <input type="checkbox"/> 学校コード <input type="checkbox"/> 大学等名 <p>※封筒が複数になる場合は、プログラム形態の横に連番を付してください。</p>
AB		郵送方法			<p>(1) 書類は書留等、配達記録が残る方法で送付してください。</p> <p>(2) 全ての申請書類をまとめた封筒表に「協定プログラム申請書類在中」と朱書してください。</p> <p>(3) 所定の様式、提出前チェック表以外に、別紙や別ファイルは一切同封しないでください。</p> <p>(4) 提出書類は一切返却しません。</p>
AB		データ送信方法(電子メール)			<p>(1) 各様式は、シート・ファイルが全て揃った状態で、電子メールにて添付送信してください。</p> <p>(2) 情報保護のため、ファイルには次のとおりパスワードを設定してください。 パスワードは、別途郵送している通知文書「平成30年度海外留学支援制度(協定派遣)及び平成30年度海外留学支援制度(協定受入)の募集について(通知)」(平成29年9月5日付け学支海留第362号)に記載しております。 【パスワード設定方法】 「ファイル」-「情報」-「アクセス許可」の「パスワードを使用して暗号化(E)」からパスワードを入力し、保存してください。 なお、保存の際、バージョンの変更を行わないよう、注意してください。</p> <p>(3) ファイル名は次の通りとしてください。 学校コード + 大学等名 + タイプ名 + プログラム形態 + (様式名 + :プログラム連番) + 提出日の西暦下2ケタ月日4ケタ</p> <p>なお、(タイプ名)、(プログラム形態)は以下の通りとしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生交流創成タイプ(タイプA) → A ・学生交流推進タイプ(タイプB) → B ・双方向協定型 → 双 ・短期研修・研究型(協定派遣) → 派 ・短期研修・研究型(協定受入) → 受 <p>【例】2017年10月10日に、支援機構大学(学校コード:326000)が、以下の申請をする場合 学生交流創成タイプ(タイプA) 「双方向協定型」2プログラム、「短期研修・研究型(協定派遣)」2プログラム 学生交流推進タイプ(タイプB) 「双方向協定型」2プログラム、「短期研修・研究型(協定受入)」1プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 「326000支援機構大学AB(様式1)171010.xls」 <input type="checkbox"/> 「326000支援機構大学A双(様式2別表:1-2)171010.xlsx」 <input type="checkbox"/> 「326000支援機構大学A派(様式2別表:1-2)171010.xlsx」 <input type="checkbox"/> 「326000支援機構大学B双(様式2別表:1-2)171010.xlsx」 <input type="checkbox"/> 「326000支援機構大学B双(様式3:1-2)171010.xlsx」 <input type="checkbox"/> 「326000支援機構大学B受(様式2別表:1)171010.xlsx」 <input type="checkbox"/> 「326000支援機構大学B受(様式3:1)171010.xlsx」 <p>(4) 電子メールの件名は次の通りとしてください。 学校コード + 大学等名 + 海外留学支援制度申請データ送信</p> <p>【例】同上 「326000支援機構大学 海外留学支援制度申請データ送信」 * メール本文には、急を要する事項や重要な連絡事項を書かないでください。</p>
AB		郵送/送信先			<p>〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1 日本学生支援機構 留学生事業部 海外留学支援課 海外留学支援制度(協定派遣・協定受入)担当</p> <p>sesp@jasso.go.jp</p>
AB		提出期間			<p>平成29年10月2日(月)～10月19日(木)必着</p> <p>* 書類とファイルは必ず<u>同一のもの</u>を期日までに送付・送信してください。</p>

(図) 平成30年度海外留学支援制度 書類提出要領

例: 学生交流創成タイプ(タイプA)に双方向協定型2プログラム、短期研修・研究型(協定派遣)2プログラム、
学生交流推進タイプ(タイプB)に双方向協定型2プログラム、短期研修・研究型(協定受入)1プログラムを申請する場合

